

「鉄と鋼」特集号原稿募集案内

テーマ：分析評価・解析

原稿締切日 平成 3 年 3 月 11 日

近年鉄鋼業界においては超高純度鋼等の高級鋼の開発のみならず、電子材料、有機材料等新素材への躍進もめざましく、製品の高品質化、高機能化が進められております。これらの技術開発において高度の分析評価・解析技術が要求され、最先端の技術導入も実施されております。

前回の特集号「鉄鋼分析」が発行された昭和 49 年以後、鉄鋼業界においては大きな変革があり、それによって、分析・解析技術も進歩発展がありました。この時期、特集号を企画することは将来の技術開発に向けて有意義なものと考えます。

組成分析、形態分析、自動化及びオンライン分析、表面解析、構造解析、並びに対象材料も鉄鋼をはじめとし、有機材料を含む新素材まで、広範囲の分野における論文・技術報告の御投稿をお待ち致します。

1. 原稿締切日 平成 3 年 3 月 11 日 (月)

2. 発行 「鉄と鋼」Vol. 77 No. 11 (平成 3 年 11 月号)

3. 原稿枚数 論文および技術報告とも刷り上がり 8 ページ以内

(表、図、写真を含めて本会原稿用紙 40 枚以内)

(注)・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。

・投稿された原稿は編集委員会において審査されます。

・特集号にはページ制限がありますので投稿件数によっては一般号にまわされる場合があります。

4. 問合せ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階

(社)日本鉄鋼協会 編集・業務室 分析特集号係 電話 03-279-6021 (代)

(注) 投稿時、原稿表紙に「分析特集号」と朱書して下さい。

編集後記

12 月号の編集が終わりました今、まさに、天高く馬肥ゆる秋となって参りました。自然の美しさに心も晴れ晴れとする日が続いております。水不足が深刻となりました夏が過ぎると、台風シーズンの到来と共に恵みの雨がもたらされました。自然は変化に富むと同時にバランスが何となく保たれているかと、改めて感心致しました。

科学技術の進歩は止まることを知らず進歩を続けており、私達は日々その恩恵を受けております。原子から宇宙まで、あらゆる分野で人間はどこまで探究し進歩していくことができるのであろうかと想像する時、ただ長生きするだけでも楽しみとなって参ります。近年、地球環境保全が叫ばれております。科学技術の進歩が地球の自然と調和を保ちながら行われるよう、人間の英知と勇気が出されていくことでしょう。かつて、我が国の鉄鋼業界は公害排出規準をみごとに克服致しました。

さて、東北大学での第 120 回講演大会も盛会裏の

うちに終了致しました。研究者の皆様には、次のステップへ向け、新たな着想を抱いたり、研究計画をたてておられることでしょう。また、研究論文の執筆を始めたいらっしゃる方もおいででしょう。鉄鋼業界は今や大きな変貌をとげました。「鉄と鋼」誌もそれにふさわしい内容になることが望まれております。その一つの試みとして、“会告等”(クリーム頁)を充実変更することが提案されております。既にお知らせ致しましたように、論文の投稿から掲載までの期間短縮作戦もでき上がり、実行に移されております。それに関連し、論文における考察とは何かという問題についても議論がかわされ、コンセンサスを得る努力等も行われております。時代にふさわしい論文誌へと着実に進展しております。会員の皆様には新しい研究分野を含め、ますます御投稿いただき、材料全般にかかわる一流の論文誌へと育てていくために、一人一人の御協力をお願い申し上げます。(H. O.)